

私一言!



森栗茂一
大阪外語大学教授

夏、大阪外大開発環境講座の
三年生が来ます!どうかよろしく!

美しい街をつくる計画など不可能だ。そこには美しい暮らしがあるだけである。どんな、自律性なき住民の町でも(神戸?)、「内から見る」と密集・空洞(と住民が思っている)町でも、美しい暮らしぶりがそこにある。異なる生活様式をもった人々、とくに若者こそ、その価値の発見者であろう。ここに都市交流の意味がある。

関西の大学生が「向島のお兄様方」から何を発見するか?「命」「暮らし」「社会」「環境」…。その訓練は、彼らが未来社会のあり方を考え世界に飛び出すとき必ず役立つ。

都市を生きるとは何か。閉鎖的な地域連合ではない。異なる人々が、相互の誤解と若干のいさかきを許しつつ、交じり合うことのダイナミックな楽しみに生きることはないか。かつての大学は異なる個性のぶつかり合いの場であった。それを研究室に囲ってしまい、学生の能力気力を減退させたのは、大学の怠慢であった。

今、求められているのは若者をもう一度、街に放ち、街に学ばせることである。その街とはどこか。美しい街はどこにでもある。しかし、異なる人々が次から次へ寄り付く向島こそ、開いた美しさをもっている。

それゆえ、野外教育の現場は向島以外には、考えられない。

いらっしやいませ 見学の皆様

- 平成13年
11/29 日本下水道協会東京都支部
平成14年
1/24 川越市
3/8 世田谷区身近なまちづくり推進協議
(奥沢・九品仏地区)
5/9 住みよい暮張を考える会
5/13 密集市街地整備推進方策検討
委員会(財)国土技術開発センター
5/31 国連地域開発センター
(16カ国研修生)
6/11 JICA国際研修(マレーシア研修生)

無人の「空き家」が防災など、まちの安全にとって問題が多いことは心配の種ですが、人が住めるためには、建物だけの問題でなく、このような仕組みにも課題があるのかも知れません。

向島地区の「空き家」情報に 問い合わせが殺到!!

しかし、この調査の対象はなつた「空き家」の大部分は、「改装に費用がかかりすぎる」「権利関係が整理されていない」等、何らかの事情で「貸家」として市場には出ていません。引っ越してきた若者達の住まいも、幸いにも、空き家であつた建物の持ち主と出会うことができ、改装を少なくするなどの、持ち主の負担と、借り手の負担が、一般の貸家より少なくなつた結果実現したものがほとんどです。

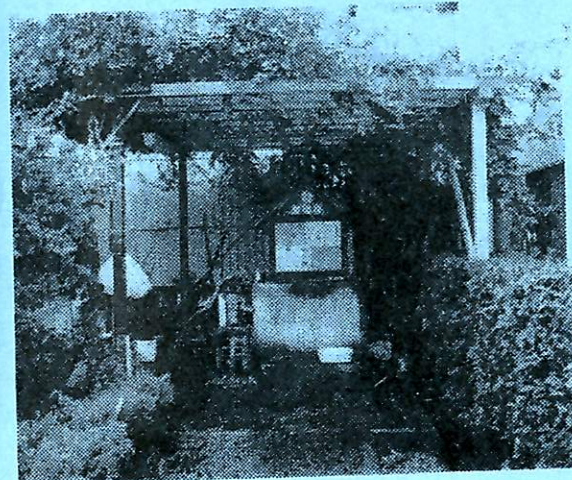


真剣なまなざし
利用者抽選会 2月22日

☆有季園に妹(?)誕生
五月半ば、京島一にミニ菜園「花かご」(二十区画)が完成しました。有季園にとっては、妹(弟?)分にあたります。六月十五日には、有季園利用者の須田さんが、講師として経験を語りました。将来は、体験や技術の交流などが図られるようになるかもしれません。

*向島有季園は、向島五丁目三十五にあり、一言会が管理運営をしている「防災小緑地」です。一言地区の皆さんが、家庭菜園として野菜や花作りを楽しんでいます。費用は無料で、二年間利用できます。

☆生け垣剪定(せんてい)会 実施
有季園の周囲には、実験植樹として七種類の「生け垣用植物」が育っています。六月十五日、利用者さんが集まり、有季園を囲む生け垣の剪定を行いました。



路地尊3号基のある有季園

平成十三年三月に実施した、一言会の空き家調査に続き、向島消防署が墨田北部地区の空き家について調査をおこないました。その結果、約七百件の空き家があることが分かりました。

この結果がNHKの首都圏ニュースで放送され、活用の事例として、向島博覧会を契機に私たちのまちに引っ越してきた若者達が紹介されました。

その後、「私たちも向島に住みたい」という希望者からたくさんお問い合わせが、消防署や区役所をはじめ不動産相談コーナーなどに殺到しました。

☆新利用者決定

二月二十二日の「利用者抽選会」で、次の十二名の方が新利用者となりました。利用期間は十六年一月迄の二年間です。《利用区画順・敬称略》

- 田中 孝一(向島五)
- 菱沼 陽子(東向島三)
- 石橋 康人(向島五)
- 和泉 輝子(東向島一)
- 久保田 松子(向島五)
- 広瀬 富一(東向島一)
- 鈴木 永蔵(向島五)
- 大垣 章(東向島一)
- 栗原真由美(向島五)
- 植竹 モト(向島五)
- 日原 光昭(向島五)
- 須田 守男(東向島一)

有季園だより

発行/一寺言問を防災のまちにする会

防災 まちづくり 瓦版

平成14年7月13日

いちてらこととい
一寺言問/防災まちづくり瓦版

編集/一寺言問を防災のまちにする会・編集局
発行/一寺言問を防災のまちにする会
代表 則武 勝商
連絡先/墨田区まちづくり推進課内
〒130-8640 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel(5608)6261

安心とつるおいの下町「川の手」をめぐって